

令和5年度 学校運営協議会 第3回議事録

校名	府立生野聴覚支援学校
校長名	田口 登志子

開催日時	令和6年2月22日(木)10:30～
開催場所	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室
出席者(委員)	吉田委員 末綱委員 小椋委員 中尾委員(欠席) 牧野委員 正木委員
出席者(学校)	校長 田口、教頭 大井・永田、事務長 徳留、首席 井端(部主事と兼ねる)・佐加・中野、部主事 中道・前田
傍聴者	0名
協議資料	令和5年度 学校経営計画及び学校評価他
備考	

議題等(次第順)	
1. 学校長あいさつ 2. 令和5年度 学校教育自己診断結果への対応について(資料1) 3. 令和5年度 学校経営計画 学校評価について(資料2) 4. 令和6年度 学校経営計画について(資料3) 5. その他(事務局から)	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
2. 令和5年度 学校教育自己診断結果への対応について(資料1) 【幼稚部】 保護者からの肯定率が低かった項目について検討した。中でも、教育方針や指導に関する事でいただいた意見を共有した。これまで以上に個々に応じた対応を進め、研修を通じて教職員の意識の向上を図ることを学部として取り組んでいきたい。 【小学部】 児童からの回答で、否定率20%を越えたものを検討した。指導面では、子供に合わせた宿題づくりや視覚支援の教材を増やすこと、分からないと言える環境づくりに取り組むことを学部で話し合った。キャリア教育の面では、中学部や卒業生とのかかわりを増やし、自分たちの将来を考えるような取り組みを行っていきたい。 保護者からはほとんどの項目で肯定的に捉えていただいた。 【中学部】 生徒からの回答では、全体的に肯定率が上昇しているが、「なかのよい友だちがいる」の項目では否定率が上昇した。人数減少で、友人関係の範囲が限られてきたのも原因ではないかと考える。担任を中心により良い関係が築けるよう取り組んでいきたい。保護者の回答で「学校は教育方針や課題を分かりやすく伝えていく。」は否定率30.8%だった。幼稚部小学部中学部と進むにつれ、保護者と学校側が関わる時間が少なくなり、このような結果になるのではと考える。今後、保護者とのコミュニケーションの機会を増やし、丁寧に伝えていきたい。 【委員からの提言】 ・保護者間、教員間、保護者と教員、それぞれの関係で世代間の差、価値観の違いがある。その中で専門性を引き継ぐことは困難な状況であるが、がんばって専門性の継承、向上に努めてほしい。 ・体罰や人権の問題は、どの学校でも厳しい目で見られる。不適切な指導や行き過ぎた指導について教員間で指摘し合える土壌づくりが大切。また、自分のこととして捉えられる研修を進めてほしい。	
3. 令和5年度 学校経営計画 学校評価について(資料2) すべての評価が揃い、概ね数値は上がっている。1月の避難訓練では、生野区役所からご参加いただき今後の連携について話をした。災害発生時は、本校が地域の避難所になるので、次年度から、PTAを含む三者で進めていく。	
4. 令和6年度 学校経営計画について(資料3) 令和6年度 学校経営計画「めざす学校像」1～4までは本校の教育が網羅されており、昨年度と変化はない。中期的目標2(3)「将来の社会自立と自己実現に向け、早期からの一貫したキャリア教育を充実させる。」を次年度、重点的に取り組みたい。また、中期的目標3(1)「授業研究、校内研修を推進し互いに学び合い高め合える専門性の高い教員集団を育成する」は互いに学びあえる教員を目標に、グループで共有していく場をもうけ、先生の研修を後押ししたい。	
令和6年度 学校経営計画及び学校評価は委員に承認された。 【委員からの提言】 ・公務や業務の見直し ・学部連携を通じた学校全体の親和な関係作り ・先輩との交流を通じて自分の将来を考えられるような一貫教育 ・地域や保護者との連携を通じた安全安心な学校づくり	
5. その他 次年度の予定 第1回 令和6年 7月 4日(木) 第2回 令和6年 12月 5日(木) 第3回 令和7年 2月20日(木)	
時間はいずれも 10:30～12:00を予定しています。	
日時	令和6年7月4日(木)10:30～12:00
会場	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室